

淡路瓦工業組合 SDGs推進宣言

SDGsとは

SDGs(エスディーゼイズ:Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)は、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016

年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」ことを誓っています。

当組合は国連が提唱する『持続可能な開発目標(SDGs)』に賛同し、SDGsの達成に向けた取り組みを当組合員と共に推進していく事を宣言致します。

2022年4月1日
淡路瓦工業組合

《持続可能な開発目標(SDGs)達成への取組》

1.淡路瓦は日本の住環境を守り、自然素材で環境に配慮した製品の提供に貢献して行きます。



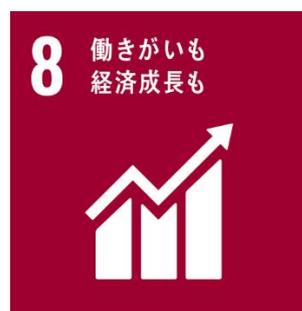
- ◇淡路瓦はアスベスト等を含まない淡路島産の自然素材で良質な粘土を使用しており、100%土にかえる粘土瓦の製造技術を継承しつつ、持続・発展することで日本の住環境に貢献して行きます
- ◇淡路瓦は製造時の不良品をリサイクル(再利用)し、新商品開発に取り組んで行きます。
- ◇淡路瓦は生産設備の最新化を推進し、生産時の歩留まりの向上や原材料ロスを低減して原材料の有効活用を進めて行きます。
- ◇淡路瓦は『瓦の漁礁』に使用されており、海洋資源の保護に積極的に貢献して行きます。
- ◇淡路瓦は火災に強く、有害なガスも発生せず、耐火性能に優れており、不燃材として、火災時の隣家への類焼を抑える屋根材として貢献して行きます。
- ◇淡路瓦は有害物質を含まない瓦。シックハウス知らずの自然素材の家に貢献して行きます。
- ◇淡路瓦は「耐久性」があり、雨や風や酸性雨にも強く、住宅の長寿命化に貢献して行きます。
- ◇淡路瓦は雨音を感じさせない「遮音性」があり、快適な住環境に貢献して行きます。
- ◇淡路瓦は「断熱性」に優れ、夏涼しく冬暖かい建材として快適な住環境に貢献して行きます。
- ◇台風や地震に対応した防災瓦を製造販売しており、強固な住宅提供に貢献して行きます。
- ◇淡路瓦は伝統的建造物の修復等に使用されており、地域の文化資源に貢献して行きます。
- ◇淡路瓦は古民家の修復等に使用されており、地域の住文化の再生に貢献して行きます。

2. 業界の見える化と正確な情報発信を目的に、オープンファクトリーを推進して行きます。
また、地域社会との協調を図り、地場産業の発展に取り組んで行きます。



- ◇エンドユーザーや観光客を対象にオープンファクトリーを積極的に実施して行きます。
- ◇地元の小学生に対するオープンファクトリーを積極的に実施して行きます。
- ◇インターンシップによる高校生、大学生を積極的に受け入れて行きます。
- ◇「トライやるウィーク」で地元の中学生を積極的に受け入れて行きます。
- ◇瓦葺き職人の後継者育成事業を実施しており、匠の技を受け継ぐ取り組みをして行きます。
- ◇各種の「技能研修会」や「講演会&セミナー」を実施し、組合員のスキルアップを図って行きます。
- ◇地域の粘土を使用し、地場産業の発展を図り、地域雇用を積極的に創出して行きます。

3. 淡路瓦はジェンダー平等を推進し、働きがいのある職場環境づくりを推進して行きます。



- ◇女性や高齢者が働きやすく活躍できる職場環境づくりに取り組んで行きます。
- ◇事務所や工場内に省エネ高性能トイレを設置し、トイレ用水の節約に取り組んで行きます。
- ◇従業員の健康と安全を確保した職場環境を構築して行きます。

4. 淡路瓦は生産性の向上により、低炭素社会の実現に取り組んで行きます。



- ◇生産性の向上やエネルギー効率の向上を図ることでCO2の低減に取り組んで行きます。
- ◇製造現場でのロボットの技術の導入による環境負荷低減に取り組んで行きます。